

新田ゼラチン

コラーゲンペプチド『コラペプJ』

臨床で関節症改善確認

各種ゼラチン・コラーゲン関連商品の開発製造を行う新田ゼラチン(本社大阪府、曾我憲道社長、06-6563-1511)は09年11月に発売した豚皮由来コラーゲン

ペプチド『コラペプJ』での吸収性を高めたもの。

ペプチド『コラペプJ』についてこのほど城西大学と共同で臨床研究を行い、摂取が膝変形性関節症(以下KOA)に有効であることを確認、10年9月16日開催の第4回アミノ酸学会で研究発表を行った。

コラーゲンペプチド(以下CP)は、コラーゲンを低分子化し、体内

の吸収性を高めたもの。同社は動物試験を含めたこれまでの研究で、①CPが関節軟骨の初期変性を抑制し軟骨の老化予防をするだけでなく、骨代謝を制御している可能性があること②腸管吸収後に出現する「Pro-Hyp(プロリルハイドロキシプロリン)」「H

yp-Gly(ハイドロキシプロリルグリシン)」と呼ばれる2種のジペプチドが体内で作用していること―などを突き止めていた。

を総合的に評価するWOMACスコア、主観的な痛みを評価するVASスコア、両スコアを総合するQOLスコアを用いた。

今回行った無作為割付プラセボ対照化二重盲検法による臨床試験では、海外のKOA患者32人を2群に分け、『コラペプJ』とプラセボを初回来診1週間後から1日10gずつ継続摂取してもらい、その後2週間ごとの来診時に整形外科が問診などの診断を行い評価した。

その結果、7回目の来診時には、3つのスコアすべてにおいて、プラセボ群に比べ、『コラペプJ』摂取群に有意なスコアの改善がみられた。同社では、CP摂取時の体内動態についても調べており、CP摂取後、前出の2種のジペプチドの血中濃度が高まることを確認している。

診断には、KOA症状